

岩手教区報

第336号

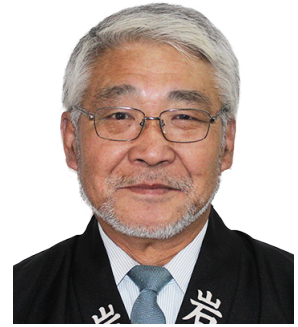
立教183年12月1日

天理教岩手教務支庁

盛岡市馬場町3-40

TEL 019-622-7962

FAX 019-623-9597



を
や
の
思
い
を
温
ね
て

主
事
櫃
割
孝
美

年初はオリンピックで賑やかな年になると思われていましたが、3月頃からのコロナ禍で、立教183年は一変しました。各部各会のほとんどの行事が中止に追い込まれ、月次祭の様相も激変し、私たちの信仰生活の核心ともいえるおぢばがえりも遠慮せざるを得ない状況が続いています。

教祖ご在世の頃は、お屋敷に帰れば官憲が差し止めるか拘引する時代で、いわば行政からの規制でした。今回の節は、おぢば参拝を躊躇する点では似ていますが、親神様の遠大な思惑が込められていると思案されている方が多いと思います。

以下は、小生の私見です。

今、世界を見回すと、「〇〇ファースト」と言われる、我が身、我が家、自国の利益追求をするあまり、他者他国と擦れ合う状況が頻発しています。イデオロギーや宗教間のいがみ合いもあります。差別格差が拡大し、一人ひとりの命と人権が軽視されがちです。それが進んだ先に見せられているのが、環境問題と地球温暖化なのだと思えます。親の身体と教えられる地球環境は、かなり危うい状況に変転しつつあるのではないかと。

れを案じられた親神様は、可愛い子供達の将来のために、ウイルスの節をお見せになり、問題の根底にある世界の心の掃除に掛かっている…。

現在コロナ禍は第3波の様相を呈していますが、ワクチンが世界にいき渡れば、来年は少し落ち着いた年になっていくと思われれます。

しかし、この度の世界的事情は、目に映る現象をとらえ、生起する問題に対処するだけでは、根本的な解決につながると思えないと思います。幸い、私たちお道の者は親神様の思いを温ねることで、思案を重ね、さんげし、反省して、親の思召に沿う道に切り替える術を探ることができそうです。

私は、万物を創造し、守護くださる親の思いを、世界の1%の人が知るようになったら、大きな変化が出てくると信じます。その大目標に向かって、今はコツコツと、一人また一人と胸から胸へ親の思いを伝えてくれよ、と仰せ頂いているように思います。

よろつよのせかい一れつみはらせど
むねのハかりたものハないから (二号 1)



「一日生涯の心」

「ありがたや。今朝もこの世で目が覚めた。なんとありがたいことではないか。この世で目が覚めるからこそ、こうして話もできるし、お茶も飲める。しかし、これが当たり前だと思っではならない。私はこれ程有難い事はないと、先ずは床の中で手を合わせ、神様にお礼を申し上げてから起床するんだ。」

これは、筆者が以前、天理の憩の家病院で奉仕していた頃、事情部講師の大先輩としてご指導頂いた筒井敬一先生の名言である。つまり、我々は朝起きた時に今朝も何時ものように目覚めた事に感謝して一日が始まる。そして一日が終わり、就寝する時には、今日も一日無事無難にお連れ通り頂いた事に感謝し、安堵の眠りにつくのである。

天理教の教えの中に「一日生涯」という言葉がある。これは、今日一日を一生と違って大切に生きる事が肝心だ、と諭されている事であろう。

今日という一日は、一日一日、一時間一時間、一瞬一瞬の積み重ねが、その人の人生をつくっていくとすれば、今日一日をお互いの生涯と心得て、今という今に生涯のいのちをかけて、大切に生き抜くことであると思う。

そして、本教における「一日生涯」の本来の意味は、信仰の道に目覚め、この道こそ真実たすかる道であると確信した元一日の心を忘れる事なく生涯の心として、精魂を込めて一日の日を送ることが大事、ということではないだろうか。

特に、ようぼくは、「さづけの理」を戴いた日の心を生涯の心として生活する信仰を離さぬよう心掛けたいものである。

今日の世界は正に難渋な時を迎えている。その中であつて、特に、神一条の精神を求められている教会長は、日々のおつとめなり、おたすけの御用に取り組む心構えとして、今日限りで明日の日は無いんだというぐらいの、つまり今日一日の日は生涯最後のつとめを果たす大切な日であるとの覚悟をもって進まなければならぬ旬が来ていると言えよう。



献血ひのきしん
報告とご案内

11月8日(日)、イオンモール盛岡南にて献血の呼びかけひのきしんを実施、参加者は4人。

また、左記の通り「クリスマス献血」の呼びかけひのきしんを行います。ご参加よろしくお願ひします。

日時 12月5日(土)
10時～16時
場所 イオンモール盛岡南



行事予定

【12月分】

- 1日 少年会例会 (12時)
- 2日 主事会 (9時)
- 〃 役員会議 (10時)
- 8日 学生担当委員会例会 (19時)
- 13日 教区小史編集委員会 (10時)
- 〃 教区報編集会議 (15時)
- 16日 行事・予算調整会議 (10時)
- 〃 教区小史編集委員会 (13時)
- 18日 青年会例会 (18時)
- 20日 女子青年例会 (10時)